

東北地方 1 か月予報

(10月2日から11月1日までの天候見通し)

平成16年10月1日

仙台管区气象台発表

< 予想される向こう1か月の天候 >

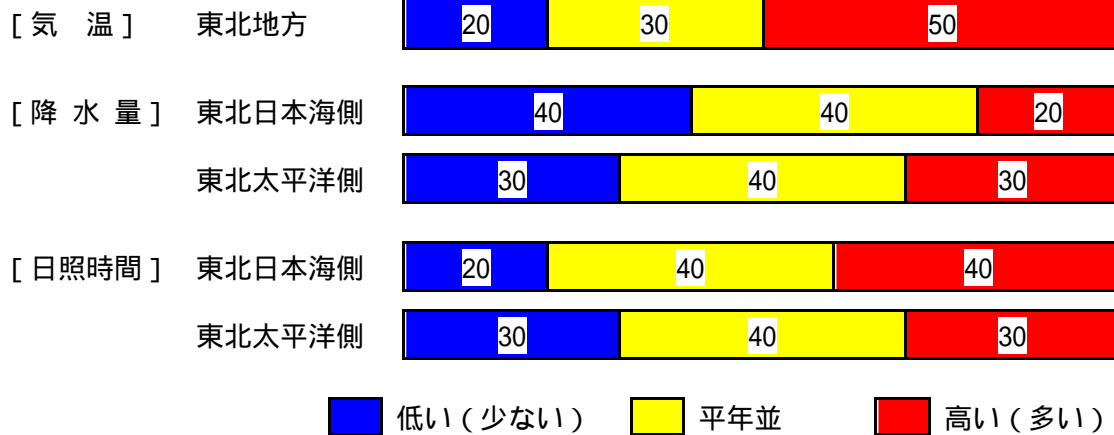
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年に比べ晴れの日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

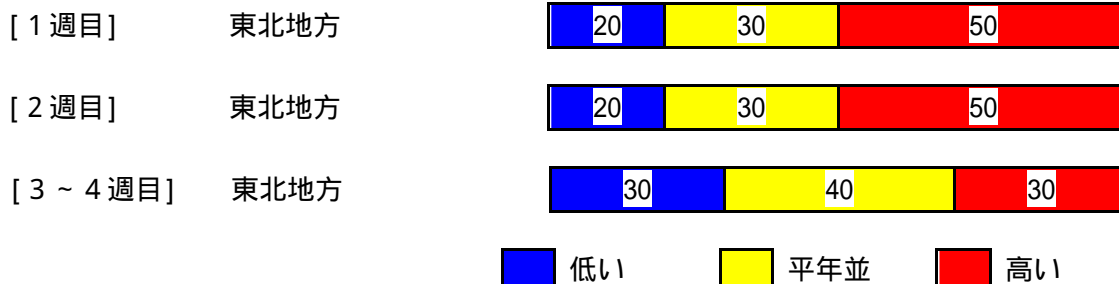
向こう1か月の平均気温は高い、降水量は東北日本海側で平年並か少なく、東北太平洋側で平年並、日照時間は東北日本海側で平年並が多く、東北太平洋側で平年並でしょう。

週別の気温は、1週目、2週目共に高く、3～4週目は平年並でしょう。

< 向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%) >



< 気温経過の各階級の確率(%) >



< 予報の対象期間 >

1 か月 : 10月 2日(土)～11月 1日(月)
1 週目 : 10月 2日(土)～10月 8日(金)
2 週目 : 10月 9日(土)～10月15日(金)
3～4 週目 : 10月16日(土)～10月29日(金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 14時30分 次回は10月8日
3 か月予報 : 10月25日(月) 14時00分

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温()		
				1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
大船渡	13.5	142.7	147.1	15.8	14.5	12.5
新庄	12.1	155.1	103.4	14.7	13.1	10.9
若松	12.9	77.3	119.3	15.7	14.1	11.6
深浦	13.1	162.9	133.8	15.4	14.1	12.1
青森	12.3	107.7	151.0	14.8	13.3	11.2
むつ	12.0	114.7	159.2	14.3	12.9	10.9
八戸	12.5	78.2	163.5	14.9	13.5	11.4
秋田	13.4	158.8	145.9	15.8	14.3	12.3
盛岡	11.5	98.5	148.4	14.1	12.6	10.3
宮古	12.9	110.0	156.2	15.1	13.8	11.8
酒田	14.4	173.9	140.9	16.7	15.4	13.4
山形	13.0	77.4	130.7	15.5	14.0	11.8
仙台	14.6	102.2	152.0	16.9	15.5	13.5
石巻	14.0	104.6	159.4	16.3	15.0	12.9
福島	14.5	97.2	140.4	16.9	15.6	13.4
白河	13.0	110.5	144.4	15.3	13.9	11.9
小名浜	15.9	153.4	155.8	18.0	16.8	14.9

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5～+0.3	80～ 109	96～ 104
東北日本海側	-0.6～+0.3	86～ 110	96～ 103
東北太平洋側	-0.4～+0.3	67～ 116	97～ 105

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.6～+0.6	-0.7～+0.6	-0.5～+0.4
東北日本海側	-0.5～+0.6	-0.7～+0.6	-0.5～+0.4
東北太平洋側	-0.5～+0.6	-0.7～+0.6	-0.5～+0.4

< 参考資料（利用上の注意） >

- （１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。
階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。
- （２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が高い場合には気候的出現率から大きく隔たった 10％以下や 60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。
- （３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 16 年 10 月 1 日 仙台管区气象台

1．出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月（10 月 2 日～11 月 1 日）：

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年に比べ晴れの日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は高いでしょう。

1 週目（10 月 2 日～10 月 8 日）：

期間の中頃までは前線や気圧の谷の影響で東北南部では曇りや雨の降る日が多く、東北北部は高気圧に覆われ晴れる日があるでしょう。その後は概ね晴れる見込みです。

平均気温は高いでしょう。

2 週目（10 月 9 日～10 月 15 日）：

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年に比べ晴れの日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は高いでしょう。

3～4 週目（10 月 16 日～10 月 29 日）：

天気は数日の周期で変わるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

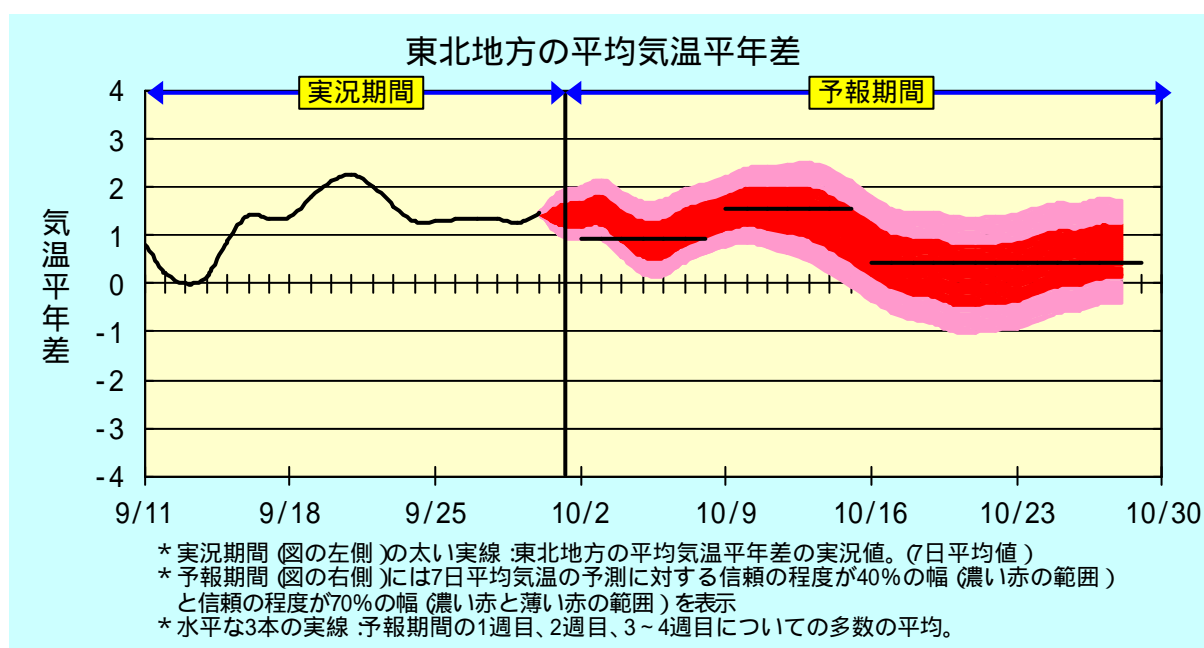
平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	13.5 日	3.5 日	3.3 日	6.7 日
東北太平洋側	16.1 日	3.6 日	3.9 日	8.6 日

2．東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目、2 週目、3～4 週目共に「高い」と予想している。予報は、その他の資料から 3～4 週目を「平年並」に変更する。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

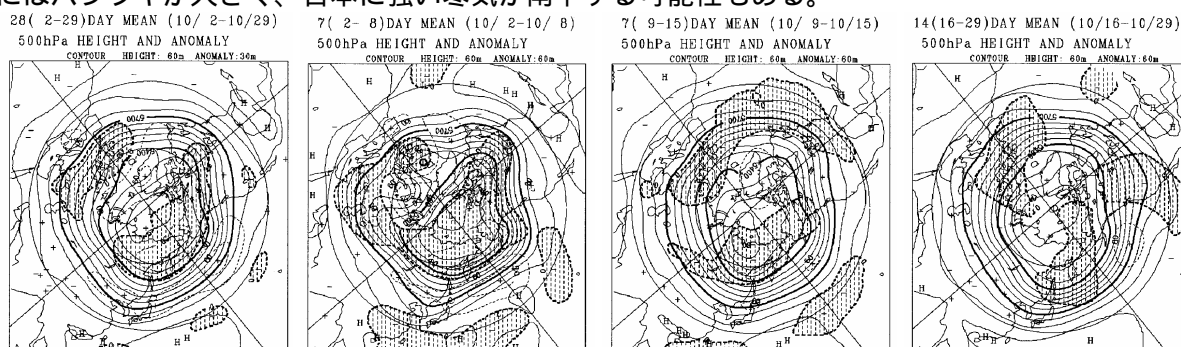


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、極東域の高緯度には負偏差が広がるが、日本付近は東西に広く正偏差に覆われる。偏西風の流れは順調で、天気は数日の周期で変わる。

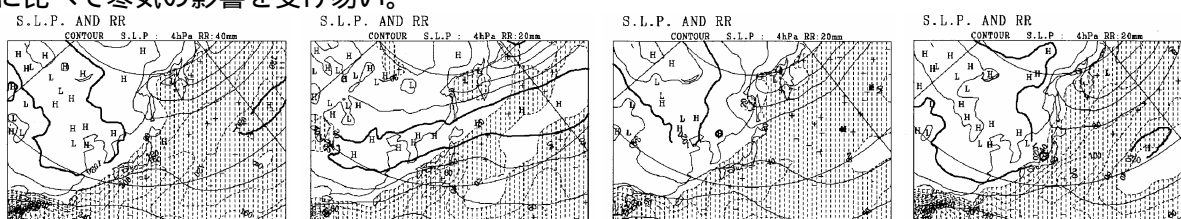
1、2週目は、日本の南が負偏差となるが中・高緯度は月平均と同様で、日本付近は東西に広く正偏差に覆われる。3～4週目は北海道から東海上まで負偏差が南下する。この寒気の南下の予想にはバラツキが大きく、日本に強い寒気が南下する可能性もある。



地上気圧と降水量：

月平均では、日本付近は東西にのびる帯状の高気圧に覆われ、天気は数日の周期で変わる。日本付近には南海上を中心とする降水域がかかる。

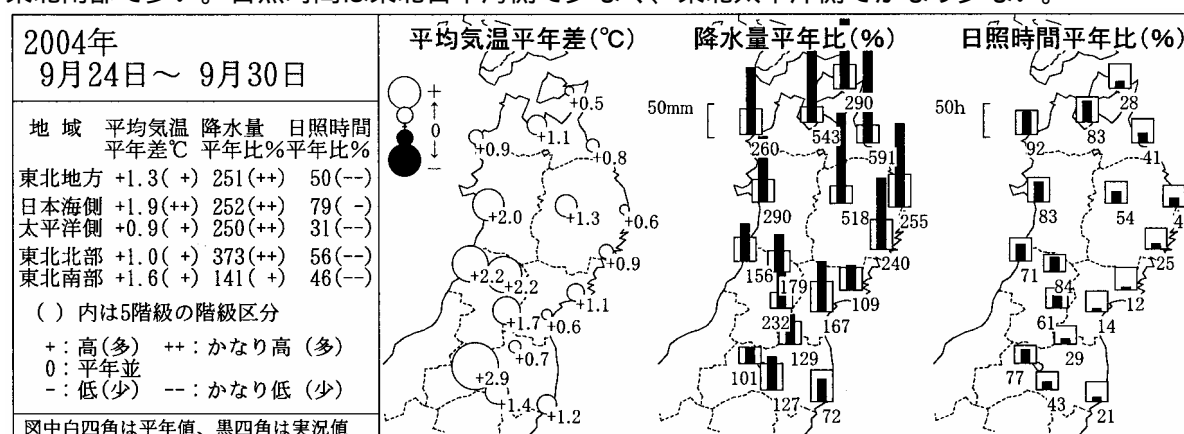
1週目は、本州の北を東西にのびる帯状の高気圧が顕著。本州南岸にはまとまった降水域。2週目以降は月平均と同様。ただし、3～4週目は大陸の高気圧が日本海まで張り出しており、2週目に比べて寒気の影響を受け易い。



4. 最近1週間（9月24日～9月30日）の天候の経過

東北日本海側は、高気圧に覆われ晴れる日もあったが、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。東北太平洋側は、北偏した高気圧からの湿った東よりの風の影響もあり、ぐずついた天気が続いた。なお、台風第21号が29日に鹿児島県に上陸後、30日には東北地方を横断したため、大雨等により各地で被害が発生した。

平均気温は東北日本海側でかなり高く、東北太平洋側で高い。降水量は東北北部でかなり多く、東北南部で多い。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）